



学年通信 ~広い路~

◆志望理由書研修会

12月12日(火)に志望理由書研修会が行われました。「再就職希望者がタイムマシンで戻れるなら、高校2年生」という話があり、高校1年生が間もなく終わろうとしている今の段階から準備をしていかなければいけないとのことでした。自分が将来、社会で何をしたいのか、どう貢献するか、そのために何を学ぶのかを考えておくことが重要です。そのために、志望する大学や短大、専門学校などについて具体的に調べ、志望理由書を書く材料を集めておきましょう。冬休み期間中に少しずつ調べる時間をつくり、2月14日(水)実施予定の志望理由書の模試でしっかりと書けるようにしておきたいですね。



- 同じ学部でも、大学によってその特徴は様々である！
- 社会問題や現状に対して自分がどう関わり、何を学ばなければならないのか？
- 志望理由書での将来のビジョンについては具体的に、マニアックに！
- オープンキャンパスやパンフレット、ホームページを有効に活用する！

◆2学期の振り返りと3学期に向けて

<学習面>

7月に一人一台端末の環境が整い、授業でも活用する機会が増えてきました。その一方で、漢字で正しく書く力や小論文・志望理由書など手書きで文章を書く力は今までと変わらず大切な力です。11月には文章読解・作成能力検定が実施され、合格者は3級が49名、4級が53名でした。2月11日(日)に2度目の検定が実施されます。この結果も参考に、これからの学習に活かしてほしいと思います。また、2年生になると文理・コース選択に応じて授業が展開されます。自分の進路実現に向けて、3学期の間に1年間の復習をしっかりとっておきましょう。

<生活面>

1学期と比べて落ち着いて生活している様子が見られるようになりました。ただし、悪い意味で「慣れ」が出てきていないか自分で振り返ってみてほしいと思います。自身の行動が周りに与える影響を考え、視野を広くして生活していきましょう。また、インフルエンザの流行や新型コロナウイルス感染など、欠席者も一定数いる状況が続いています。引き続き体調管理をしっかりとっていきましょう。

3学期へ向けて、まずはこの1年をしっかりと振り返りましょう。高校入学時には漠然としていた「どのように1年間が経過するのか」という点は、テスト・模試・部活動・学校行事を体感して理解できたと思います。日々の勉強についていくのがやっとの人、部活動中心の毎日を過ごした人、楽しい学校生活に流されて勉強を疎かにしてしまった人など様々でしょう。1年間を振り返って、良かった点・そうでなかった点を書き出して、2年生に向けてどのように生活し、学習をしていくべきかを考えてみるとよいかもしれません。

◆冬休み中の課題について

国語… 1～4組「力をつける現代の国語」4～9、「古典アチーブ1」p36～p39、p60～p73

5組「スタディアーク現代文 step2」5題、「グランステップ古典」7題+1題

共通 短歌をつくる

数学… 1～4組「フォローノート」1～13

5組「チェックノート」1～13

英語…「Treasure Hunt」Lesson 1～3

理科…内分泌腺・ホルモン・はたらき（冬休み明けにテスト実施 勉強する）

情報…2学期期末考査の直しをまとめる、確認テスト17、18に取り組む

提出日や詳細に関しては授業担当の先生の指示をよく聞くように！

12月20日(水)～26日(火)は冬季補習が実施されます。国数英が1コマ70分で行われます。普段の授業より長いです。1月9日(火)の課題テストに向けて集中して取り組みましょう！

◆冬休み明けの日程について

1月9日(火)

8:10～ 8:20 SHR

8:25～ 9:00 清掃

9:05～ 9:15 入場

9:15～ 9:35 始業式

9:55～10:15 服装・頭髪指導

10:15～10:45 LHR

11:00～11:50 課題テスト(数学)

11:50～12:30 昼休み

12:40～13:30 課題テスト(国語)

13:45～14:35 課題テスト(英語)

14:40～14:45 SHR、簡単清掃、放課

始業式の後に服装・頭髪指導があります。
制服の着崩しや華美な髪形、化粧はもちろんのこと、爪の長さなども改めて見直し、注意されることのないように整えましょう。

12月・1月の行事予定表

12月20日(水) 冬季休業(～1/8)、冬季補習(～12/26)

29日(金)～1月3日(水) 学校閉庁日

1月 9日(火) 始業式、課題テスト、服装・頭髪指導

13日(土) 進研模試

18日(木) 45分授業

19日(金) 45分授業、校則見直しに向けた生徒会議

25日(木) 40分授業

人間にとって最高の幸福は、一年の終わりにおける自己を、その一年の始めにおける自己よりも、遥かに良くなったと感ずることである。

19世紀のロシアの小説家 トルストイ